横浜市立松本中学校 学 校 だ よ り

第１０号

令和８年２月２０日
横浜市立松本中学校

８時10分前は何時？ ～世代間のギャップとは～

校長　間邊 浩二

「8時10分前に〇〇に集合してください！」と言われたら、何時を思い浮かべますか？
この問いに、多くの大人の皆さんは迷うことなく「7時50分」を思い浮かべるのではないでしょうか。しかし、2025 年6月に放送された「めざましテレビ」の調査によると、若者の半数以上（64％）が「8時10分前」を「8時から8時9分の間」と解釈していることがわかり、大きな話題になりました。

　この「何時何分前」という表現が、世代によって異なる時刻を指すことがわかり、時間の捉え方に大きな隔たりがあることが明らかになりました。
「めざましテレビ」の調査データによると 40 代、50 代の世代では84％の人が「7 時 50 分」と捉えているのに対し、10 代から 25 歳くらいまでの世代で「7 時 50 分」と捉えている人は36％しかいないということになりました。
　このことから NHK 放送文化研究所によると「8 時 10 分前」のような表現は、時刻を客観的・時系列的に伝える場面では原則として使用しないことになっているそうです。その理由は、聞き手によって解釈が分かれる可能性が高く、誤解を招きやすいからです。情報を正確に伝えるために「午前 7 時 50 分」のように具体的な時刻で伝えることにしているとのこと。
　なぜ世代によって「8 時 10 分前」の解釈に違いが生じるのでしょうか。 その理由として2つのことがあげられています。
　一つ目の理由は、「スマートフォンやデジタルツールの普及」が考えられます。以前まで主流だったアナログの時計は、針の位置から「10分前」という目で見た感覚、つまり視覚的にわかりやすくなっているのです。しかし現代の若い人たちは、デジタル時計やスマートフォンが当たり前の環境で生活してきています。これらの道具では「8:10」のように、時間は数字で表示されることが多くあります。そのため、「8時10分前」という表現を聞いた時には、具体的な時刻を先にイメージして「8時10分の前」として認識していく傾向があるというのです。
　つまり、デジタル表示に慣れている世代にとっては、時間は連続した流れというより、一つの数値として捉えられることが多くなっているからというのです。
　二つ目の理由は「生活様式やコミュニケーションの変化」ということが考えられています。
　現代の若者、いわゆる「Z 世代」（1990 年代半ばから 2010 年代に生まれた世代）といわれる人たちは、効率性を重視する傾向にあると言われています。そのため、時刻を伝えるときは、「7時50分」と具体的に表現する方がわかりやすいのだそうです。また、SNS などでは短い文や単語、あるいはイラストやスタンプのようなものを介して、コミュニケーションをとることが中心になっていることから、あいまいな表現より、簡潔で明確な言葉を好むことが多くなっていることからも、世代間での理解のギャップが生じやすいのではないかというのです。
　世代によって認識のずれが生じやすい言葉や表現は他にもあります。例えば「10万円弱」というのはどうでしょうか。「～弱」という表現は「切り上げてその数になったことを示す語」なので、実際はその数値よりも少し少ないことを意味します。つまり「10万円弱」は10万円より少し下回る金額指すのが本来の解釈ですが、Z 世代の人たちは「上回る」と解釈している割合が多いそうです。同じ言葉でも、解釈の違いがあると、相手に正しい情報や内容が間違って伝ってしまうことが起こってしまいます。だからこそ、表現の仕方には十分に気を配っていく必要があるのですね。

校内書き初め展を終えて…

国語科　吉田　賢二

冬休みが終わり、新年を迎え、冬休みの宿題として取り組んだ書き初めが提出されました。各教室の壁一面に生徒たちの力作がずらりと並びました。1 年生は「新たな決意」「伝統文化」、2年生は「新たな目標」「大志を抱く」、3年生は「旅立ちの春」「伝統を守る」が課題で、楷書や行書で一文字一文字丁寧に書き上げた作品が、教室を凛とした空気で満たしていました。

1月のある日、放課後から深夜にかけて、国語科の教員で真剣に審査を行い、各学年から金賞・銀賞・銅賞が選ばれました。特に金賞に選出された作品は、図書室に掲示されたり、神奈川区の巡回展に出展されたりし、生徒たちも大変喜んでいます。

現代ではデジタル機器で文字を入力することが日常となり、手書きの機会が減っていますが、今回の書初め展を見て改めて、手で筆を持ち、心を込めて文字を綴る行為の美しさと深さに感動しました。一人ひとりの作品からは、力強い筆運び、繊細な線の味わい、そして何より自分の思いや目標を表現しようとする真剣な姿勢が伝わってきました。どの作品も個性が輝き、見る者の心を打ちました。

書き初めは単に文字を書く作業ではなく、自分自身と向き合い、思いを形にし、それを周囲と分かち合う貴重な機会です。校内書き初め展を通して、生徒たちの成長と可能性を強く感じ、これからもこうした伝統文化を大切にしながら、子どもたちの表現する力を育んでいきたいと思います。

第２回 小中交流会が行われました

教務　石井　亮

１月 16 日に第 2 回小中交流会が行われました。本来は第 1 回は小学校で行われるのですが、第１回当日の９月５日が台風による荒天のため中止となり、実質今年度初めての交流会となりました。

小中交流会とは言っても児童生徒間に交流があるわけではなく、松本中学校ブロック（松本中、三ッ沢小、南神大寺小）の先生方の交流の場となっています。交流会とは言うものの、実際には６年間、3 年間ではなく、9 年間で子供たちを育てていこうというビジョンを共有するための取組です。そのために「子どもが主体的に取り組み、小中の良さを生かした授業つくり～発達段階を意識して～」をテーマに小学校の先生に授業を見てもらい、その後に研究協議（話し合い）を行いました。小学校の中でしてきたことや、してほしいことを伝えあったり、中学校でどのようにして小学校の間に培われたことが生かされているかを見てもらったりしました。話し合いを通して、小学校→中学校の摩擦「中 1 ギャップ」を解消し、スムーズに移行できるようにしていこうと日々研究しています。

しかし何よりも、小学校の先生方も、中学生のみんなも、お互い久しぶりに会うことができ、話ができて嬉しそうでした。難しい話し合いも大切ですが、小学校の先生と中学生がお互いの顔を見て、元気な姿を確認できたことが小中交流会の一番の収穫かな？と思っています。

～卒業にあたって～

3学年主任　首藤　郁子

卒業の日が、とうとう近づいて来ました。

3年生のフロアでは、これまでと変わらず、休み時間に仲間と過ごす楽しそうな笑顔を見ることができ、安心しています。ふとした時に卒業を実感して思わず涙ぐむ生徒もいて、誰もが、別れることが本当に寂しいと思える学年を作ってきた緑学年の皆さんを誇りに思います。

この絆は決して始めからあったものでも、たまたま、勝手にできたものでもありません。
入学してから3年間、毎日の授業、クラスでのいろいろ、たくさんの行事、その全部に丁寧に、全力で取り組んできた結果です。クラスのみんなと、担任の先生と、たくさん話して、お互いを思いあって、たくさんの時間を共有して、時間をかけて作り上げてきたものです。

2月20日からは卒業に向けた特別時間割に入ります。3年間の総仕上げの時間です。そして、中学校最後で最大の行事、卒業式を迎えます。小学校の卒業式と違って、中学の卒業式を終えると、一人ひとり自分の道を歩き始めます。卒業式はその決意を表す大切な行事です。ご家族のみなさんを始めとして、これまで支えてくださったすべての方への感謝の気持ちを表すための式でもあります。卒業式には2年生が、予行練習には1、2年生が参加します。在校生の皆さんにも、先輩の姿から何かを感じ取ってほしいと思います。

参加してくださったすべての方の心に残る、最高の卒業式となるよう、卒業までの時間を大切に過ごしていきます。最後までよろしくお願いいたします。

＜スクールカウンセラーについて＞

予約は直接カウンセラーにお電話いただくか（相談室直通電話：323－2685）、勤務日以外は学校までお問い合わせください。

＜3 月の開室日＞　※佐藤先生の□の日の曜日にご注意ください。

○佐藤　文彦　先生	○増田　優香　先生
3/6（金）、3/13（金）	3/4（水）AM、3/11（水）
19日（木）	3･18（水）、3/25（水）

～充実した職場体験学習～

先日、職場体験が行われました。地域の方々に協力していただき、素晴らしい体験ができました。本当にありがとうございました。

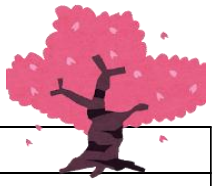
2学年主任　川﨑　泰裕

強烈な寒波に見舞われた1月23日、2年生は別々の事業所で「働く体験」をさせていただきました。ここまで1か月以上時間をかけて職場体験の準備のため、「なぜ、働くのか？」「世の中にはどんな職業があり、どんな大変さ、やりがいがあるのだろうか？」など、さまざまな視点から「働くこと」について考えました。

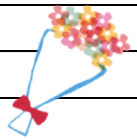
いざ体験当日、みんなはどんな様子なのか、2年生が体験している様子をいくつかのぞかせていただきました。学校では見られない緊張感のある雰囲気の中、時間がかかりながらも、慣れない仕事に精一杯取り組んでいる姿がそこにはありました。私が伺った飲食店では、そのお店のユニフォームに身を包み、入店した瞬間はどこに生徒がいるのかわからないくらい、その空間になじんでいて、お店の方からは「今すぐ働けます！」「教えたことを忠実にやってくれています！」ほかの事業所でも、「興味を持って真剣な表情で話を聞いてくれました！」など、お褒め言葉ばかりいただきました。

また、体験を終えた後の振り返りにも、「好きなことに真摯に向き合えるような大人になりたいと思い、これからは何事にも全力で取り組んでいきたい」などの感想を書いた生徒もいて、本気で働く大人に接し、多くの学びがあった職業体験となりました。

【　3月　行事予定　】



日	曜	行事	日	曜	行事
1	日		17	火	
2	月		18	水	一斉下校
3	火	特別委員会(最終)　球技大会(3年)	19	木	球技大会(1,2年生)　一斉下校　《定通分割合格発表日》
4	水	お別れ会(3年)　一斉下校	20	金	春分の日
5	木	専門委員会(最終)　百人一首大会(3年)	21	土	
6	金	3年生を送る会	22	日	
7	土		23	月	
8	日		24	火	百人一首大会(1,2年生)
9	月	卒業式予行練習	25	水	修了式(離退任式)
10	火	卒業式準備　《二次募集検査日》	26	木	学年末休業(～3月31日)
11	水	第73回卒業式	27	金	
12	木		28	土	
13	金	《二次募集合格発表》	29	日	
14	土		30	月	
15	日		31	火	
16	月	《定通分割検査日》　一斉下校			



※3/31(火)　吹奏楽部スプリングコンサート
場所:西公会堂　14時開場
※4/1(水)～6(月)　春季休業